

2020年度

事業報告書

公益社団法人 岡山青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning
and purpose to human life ;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best
be won by free men through free
enterprise ;
That government should be of laws
rather than of men ;
That earth's great treasure lies in
human personality ; and
That service to humanity is the
best work of life.



ミッション J C I MISSION

トゥ プロバイド デヴェロップメント オポチュニティーズ
To provide development opportunities
ザット エンパワー ヤング ピープル
That empower young people
トゥ クリエイト ポジティブ チェンジ
To create positive change.

J C I の使命

青年が積極的な変革を創造し開拓するために
能動的な活動ができる機会を創造する。

《2008年》

J C I VISION

To be the leading global network of young
active citizens.

J C I ビジョン

青年の行動的市民活動を支援する国際的な
ネットワークをもつ先導的機関となる。

J C 宣 言 文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

〈2020年11月5日 世界会議横浜大会 第165回総会にて可決承認〉

綱 領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

〈1960年12月総会決定〉

岡山JC三信条

- 修 練** 岡山 J C は、青年経済人として郷土の経済発展に貢献し、企業を基盤として社会貢献を
行い、不易と流行を常に意識し、行動に移すべく、自己修練を行う団体である。
- 奉 仕** 岡山 J C は、快適で活力あるまちづくりができる人材を育成する団体である。
- 友 情** 岡山 J C は、志の基に集まった会員相互が、青年会議所運動を通して、切磋琢磨し、真
の友情を培う団体である。

「21世紀における岡山青年会議所のあるべき姿」
〈1999年1月14日 第1回定時総会承認（内容同上）〉
「岡山JC三信条」

〈2009年11月4日 総会承認〉
（実施期間2010年1月1日～2014年12月31日）

2020年度スローガン

J C I スローガン

Be Better.™

公益社団法人日本青年会議所 スローガン

全ての人びとが
笑顔で生きがいを持てる国
日本の創造

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会スローガン

誰もが輝き笑顔溢れる
岡山の創造

公益社団法人岡山青年会議所 スローガン



70周年記念ロゴマーク



〔目 次〕

I 事業報告	3
理事長、副理事長、専務理事、常任理事、監事	
II 組 織	8
1. 会 員	8
2. 組 織 図	10
III 出向者報告	11
IV 委員会活動報告	18
V 会 議	21
1. 総 会	21
2. 理 事 会	22
VI 例 会	25
VII 諸 事 業	26
VIII 褒賞関係	27

ONLY ONE 巻き起こせfusion!

基本理念 我々の変化が岡山のまちを動かす原動力となる。青年の漲るエネルギーで、失敗を恐れず、果敢に挑戦し、郷土おかやまに新たなフュージョンを起こそう。歴史に学び、新たな価値を創造し、名実ともに、オンリーワンの岡山青年会議所を築きあげよう。

基本方針 共に時間を共有し自ら積極的に挑戦することにより、真の友情を培い、醸成されたリーダーシップを手に入れよう。ひとやまちのために行動し、確かな成果を残すことにより、品格ある人財へと成長していこう。

岡山が持つ多くの魅力を融合させ、オンリーワンの価値を創造しよう。同じ志を持つ多くの仲間と、手と手を取り合い、共に、誇りある「おかやま」を実現するために、青年として勇気と情熱を持った活動を展開しよう。

歴史や伝統と未来へと向かうビジョンを融合し、より強い組織を創り上げよう。自分自身の成長により組織のブランド価値を高め、オンリーワンの団体へ昇華させることで、誰一人取り残すことない未来を創造していこう。

相手の期待を超える気遣いと礼儀礼節をもって、真に価値ある場を創出しよう。目的意識と実践意識を持って参加することで人と企業の成長につながる起爆剤としよう。積極的に楽しむことで更に価値あるものに高めよう。

郷土おかやまをより発展させるため、まちづくりができる多くの人財を創出しよう。地域から必要とされ、大きな影響を与える公益団体であるために、未来を見据え、見聞を広くし、強く厳格な組織を作り上げよう。



I 事業報告

理事長 高山 晃 一

創立70周年を迎える2020年は、「Only One～巻き起こせフュージョン～」をスローガンに活動してまいりました。郷土おかやまが秘める多くの可能性を融合し、新たな価値を創造する様々な事業を計画してまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、我々を取り巻く環境は一変しました。事業や例会の中止など、これまで当前と思っていたことのありがたさを実感いたしました。

しかし、この経験は、何事にも挑戦し、こんな時だからこそできる新たな手法を生みだしました。室や委員会の枠を超え、緊急事態宣言解除直後に実施したドライブインシアターや、ドライブスルー方式の飲食店支援事業、献血事業、Web公開セミナーなどは、郷土おかやまに希望と活力を与えることができたと確信しております。そして第27回うらじゃ本祭は中止になりましたが、多くの市民からデザインが寄せられたうらじゃマンホールの寄贈や、YouTube配信で実施した「うらじゃのソコデカラ2020～卒業～」は、うらじゃが岡山のまちに必要なまつりへ成長したことを発信することができました。

一方で、この経験はメンバーの意識にも変化を起きました。これまで当然と信じて続けてきた活動の意義を考え、Webを活用した親睦事業や諸会議、ハイブリッド例会の実施など、いかなる状況でも絆を深め、どんな困難に立ち向かえる、強くしなやかな岡山青年会議所のニューノーマルを築き上げることができました。会員拡大も例年のような活動が難しい中、LOM一丸となり、20名以上の実績を上げていただいたことには、感謝しかありません。

そして、開催が危ぶまれた創立70周年記念式典も、多くのご来賓や特別会員の皆様、そして各地会員会議所の同志をお迎えし開催することができました。歴の短いメンバーが過半数を占める中、これまでの歴史に学び、激動の2020年を経験し、これからの活動の在り方を共に考えることのできた本年は、「不易と流行」とは何かを考える絶好の機会となりました。次年度に開催予定の記念事業も、郷土おかやまに多くのフュージョンを巻き起こす、オンラインの事業になると確信しております。

最後になりますが、現役の活動にご理解をいただきました特別会員の皆様、ご支援ご協力をいただきました関係各位には、心より感謝申し上げます。またコロナ禍でも立ち止まらず、ともに走り続けたくれた現役会員の皆様には多くの力をいただき、これまでにない学び多き一年となりました。そして何より、予定者段階から一番近くで支えていただいた安部専務理事のおかげで、この重責を全うできたことは言うまでもありません。本当にありがとうございます。

本年度の活動が、今後の新たな活動の試金石となり、この岡山青年会議所がさらに郷土おかやまに必要とされる団体へと成長発展を遂げていくこと、そして関係する皆様方のご健勝を心より祈念を申し上げまして、事業報告とさせていただきます。



副理事長 小林 佑 輔

本年度は、高山理事長よりひとづくり室副理事長兼会員研修委員会委員長という大役を仰せつかり、一年間新会員の指導・育成を担当させていただきました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により例年通りの研修カリキュラムがなかなか行えない中、研修の目的を変えず新たな育成手法を用いていかに新会員を指導することができるか、効率的に成果を上げるためにはどうすればいいかを日々試行錯誤し、新しい形での研修に挑戦いたしました。修練を通して味わう感動体験による自己成長や、青年経済人として相應しい立ち居振る舞い、新会員同士の友情の醸成など、例年以上に研修の目的を達成することができたものと確信しております。一年間新会員のために献身的に向き合い取り組んでくれた委員会スタッフには本当に感謝しております。今後も郷土おかやまから求められる品格あるリーダーとして活躍できる人財となるように、引き続き責任をもって見守ることお約束をさせていただきます。特別会員の皆様、現役会員におかれましては、一年間会員研修委員会にご支援ご協力を賜り心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



副理事長 石 井 聖 至

本年は、まちづくり室副理事長の役職を高山理事長より賜り、この一年を駆け抜けてまいりました。岡山を代表する夏の風物詩の「うらじゃ」を担いとする二垣委員長率いるまちづくり委員会、「キッズビジネスパーク」「キッズスポーツパーク」等の事業を担いとする星川委員長率いるオンリーワン岡山確立委員会の二委員会を担当させていただきました。

行政をはじめとした多くの団体の皆様から多大なるご支援ご協力を賜り、多くの経験をさせていただきましたが、本年度は新型コロナウイルスの影響によりそのほとんどの事業は実施することさえできず、大変悔しい思いをした一年でした。

しかしながら、この悔しい思いを否定的にとらえることなく自己成長につながった一年だったと思えるかどうかは、自らの捉え方考え方だと感じております。このような一年だったからこそ経験できたこと、このような一年だったからこそ育むことができた友情やつながりを大切に、今後のJC活動の糧にしていきたいと思います。

最後になりますが、このような貴重な経験をさせていただけた高山理事長をはじめ、共に活動してくれたメンバーの皆様に心から感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



副理事長 井戸 啓太

本年度、高山理事長より未来室副理事長という大役を仰せつかり70周年を迎える岡山青年会議所の歴史を振り返り、これからの未来を創っていく大切な一年間を誰一人取り残すことなきよう率先して行動してまいりましたが、新型コロナウイルスの影響により多くの変更を余儀なくされました。

しかし、綾部常任理事及び岡山の未来創造委員会大森委員長並びに広報戦略委員会古山委員長とともに、若者らしく斬新な手法と積極的な発信力を活用することによって岡山青年会議所の存在意義を高め、岡山のまちや市民にとって我々にしかできないオンラインの活動を諦めることなく、岡山青年会議所PR動画の作成、70周年記念事業として岡山市に新カラーの桃色のもちゃりの寄贈、70周年記念式典を開催させていただき、また、実施は2021年度となりますが池田動物園にキリンを贈呈させていただくプロジェクトを発足いたしました。岡山のまちがもっと夢溢れる活動をこれからも邁進してまいります。

結びとなりますが、特別会員の皆様、現役会員におかれましては、一年間会員研修委員会にご支援ご協力を賜り心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



副理事長 磯 島 慈 海

100年前の事例に準えてしまい、蛇を龍と見誤った情報過多の混乱に日本が翻弄される中、人と人の交流を第一に置く当室においてそれは大きな壁となりました。しかし、前例のない状況はすなわち新たな基準を創り出す機会が到来したととらえ、青年らしく積極的に状況に即して行動することができた一年でした。私たちは2011年に日本を巻き込む事例として大災害を経験しており、その経験から郷土に必要な行動、まちから求められることを予測することが出来ました。様々な企画を立てましたが、大半は実施が叶わずお蔵入りとなりました。しかし、その中で緊急時の特例として室の垣根を越えたまちの為の事業を先駆けて実施できたことは当室にとって挑戦であり、チャンスでもありました。失敗の可能性は少なくありませんでしたが、結果としてまちから強く求められ、必要とされる事業を行うことができました。また、これらの行動が波紋のように広がり、本年度の交流室がまちと青年会議所へ与えた影響は大きかったと思われます。

委員会ごとに顧みると、大岩委員長率いる渉外委員会はコロナ禍の影響を最も受けた委員会でした。各青年会議所との交流が軒並み延期となり、企画と準備をやり直し、そして再度の延期となり、結局は交流が中止となるサイクルを繰り返し、実施した事業は少ないですが準備と企画の組み立ての数は1,2の多さを誇る委員会となりました。そして、実施した事業においても前例に囚われることなく、現状に最も適した形を探し出し、目的を効果的に達成する手法で実施することができました。惜しむらくは年間を通してLOMとLOMとの交流、メンバーの対外ミッション参加の推進を深く掘り起こし続けた努力も、目の目の見ることが少なかったことは世の状況下とはいえ残念でなりません。成功も失敗も挑戦してこそ得られるもので、委員会経験もそこで深まるものです。その機会自体を十分に与えられなかったことは青年会議所に所属する会員としての権利が奪われている状況であり、たいへん申し訳なく思います。

加藤委員長率いる例会委員会は行動力溢れる積極性を見せ、伝統と型は守りつつも前例に囚われることなく、一つ一つの会の意味を委員会に落とし込んで1年間事業に取り組みました。理事長が開催される例会に新しい付加価値を加えさせていただき、後半に2度の100%例会を達成できたのは取り組みが実を結んだものと考えます。例会が常に変更・延期・中止の判断に左右されても儀式としての例会からぶれることなく、その都度対応を行い、その状況下で高い出席率を維持することができたことは委員会メンバーの努力の証左と考えます。また緊急時の積極的な行動は岡山青年会議所の設立趣意に通ずるものがあり、郷土の為にを行った事業は素晴らしい成果をもたらしました。世情が混乱している中で、まちと青年会議所の先駆けとなって理想に近い委員会活動をしたと言っても過言ではありません。

昨年末から感染症被害の拡大が海外で取り沙汰されていたに関わらず、活動年初に私たち執行部が頭数をそろえて、一人もこの状況を示唆できず計画を承認していたことは誠に遺憾に存じます。あらゆる事態を想定して、時間をかけてでも危急に対する備えを図ることが足りておらず恥じ入る限りです。その中でも当室の大岩・加藤委員長はじめとするメンバーの皆様は年間を通して柔軟に対応していただき、職務分掌と即応事業を遂行してくださいましたこと心より御礼申し上げます。そして、それらの事業に積極的に参加、協力をいただきましたメンバーの皆様に感謝申し上げます。また、日本赤十字社さま、おもちゃ王国さま、環太平洋大学さまには誰もが新規事業に二の足を踏む状況下で特別なご協力を賜りましたこと心より御礼申し上げますとともに、今後一層の関係強化を期待させていただきます。

最後になりましたが、私たちが主催する様々な会が延期・中止を繰り返したことにより、ご迷惑をお掛けした特別会員はじめとされる関係者の皆様には心よりお詫び申し上げます。



専務理事 安部 真 良

本年度、高山理事長のもと、専務理事として中村常任理事と共に、総務室の竹田委員長率いる会員拡大委員会と幡山委員長率いる総務委員会を担当させていただきました。2020年は、「Only One～巻き起こせフュージョン～」をスローガンのもと、活動してまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、Web会議の活用や集まらずともLOMの一体感を作り出す手法を考えるなど、今までに経験したことのない貴重な経験をさせていただきました。

会員拡大委員会は、コロナ禍で拡大活動が難しい中、LOMメンバーへの拡大活動の意識変革を行い20名以上の拡大に成功しました。拡大活動は本来メンバー1人1人が行うLOM最大の活動であるという意識を浸透させ、自発的に拡大活動ができる基礎を築いていただいたと考えております。会委員拡大委員会の皆様、本当に感謝申し上げます。

また、総務委員会にはWebでの会議設営や事業運営ガイドラインの作成等、ウィズコロナの時代に相応しい組織運営をしていただきました。誰もが経験したことのない年に、扇の要としての役割を実践してくれた総務委員会メンバーには感謝しかありません。本当にありがとうございました。

最後になりますが、特別会員の皆様、現役会員のご厚情に深く感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。



常任理事 綾 部 健二郎

本年度、高山理事長より未来室常任理事の役職を賜り、井戸副理事長にご指導をいただきながら、大森委員長率いる岡山の未来創造委員会と、古山委員長率いる広報戦略委員会を担当させていただき、70周年を迎える2020年度らしい活動を展開すべく、1年間を駆け抜けてまいりました。

岡山の未来創造委員会では、70周年担当委員会として記念誌の発行や記念式典の開催を通して、LOM内外に対して岡山青年会議所の不易と流行を発信する機会を創出することができました。

広報戦略委員会では、ブランディングにつながる新たな広報活動を模索する中で、例年に増してメディア露出の機会を創出することができました。

悔やまれるのは、70周年事業実行委員長を拝命したにもかかわらず、新型コロナウイルス等の影響もあり、記念事業が本年度に開催できなかったことです。2021年度の開催に向け、引き続き尽力していくことをここにお約束申し上げます。

最後になりますが、未来室の活動にご理解とご支援をいただきました特別会員の皆様、高山理事長をはじめ現役会員の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げ、常任理事事業報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。



常任理事 中 村 彰 宏

高山理事長が掲げられた力強いスローガンのもと、70周年という大きな節目を迎える岡山青年会議所に新たな歴史を刻むべく、全力で職務を全うさせていただきました。

2月頃から世界中を襲った新型コロナウイルス感染症により事態は一変し、事業はさることながら、例会すら満足に実施できない時期も発生してしまいました。そんなメンバーが不安を抱える中、団体の存在価値に立ち返り、コンプライアンスの徹底された組織運営とは何かを再認識し、一人一人の規律に対する意識や責任感を高めるための指針やルール作りに取り組ませていただきました。

また70周年事業をはじめ、現状の中で最大限できる活動の形は何かをメンバーとともに考えることで、岡山青年会議所がオンリーワン団体としてのブランド価値を高め、ここ数年の実績にも引けを取らない会員拡大にも繋げることができました。

一年間お世話になりました総務委員会および会員拡大委員会の皆さまには、大変感謝をしております。

最後に、多くの特別会員および現役会員の皆様方に多大なるご支援とご協力を賜りましたことに心から御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



監 事 關 和 敏

本年度は高山理事長より監事という大役を仰せつかりました。私としては、俯瞰的な立ち位置から自分自身を律し、LOMの力になれる様に心がけて参り、例会や理事会等でお話をする機会をいただき、成長させていただくことができました。あくまでも挨拶ではなく講評なので、会の最中に様々なことにアンテナを張る様になりました。また組織を冷静に見ることは、今までの自分自身を冷静に振り返る事にも繋がっていました。今年は新型コロナウイルスの影響で事業構築が出来なかった1年になりましたが、その中でも事業ができる事の喜びや、事業が出来なかった悔しさ、今後のLOM活動に対して微力ながら助言ができたと確信しております。コロナ禍における岡山青年会議所の在り方が位置づけられた1年となりました。監事という役職は冷静沈着な考え方がもてるようになり、思っていた以上に非常に楽しくとても勉強させていただいた1年間でした。この学びをこれから残る岡山青年会議所メンバーに余すことなく伝え、強固な岡山青年会議所の構築の一助となれたなら幸いです。最後になりましたが、特別会員の先輩諸兄をはじめ、現役会員の皆様1年間、お力添えを賜りまして誠にありがとうございました。

Ⅱ 組 織

1. 会 員

(1) 正 会 員

2019年度末会員	107名
2020年度特別会員加入者	17名
2020年度新規加入者	20名
2020年度中途退会者	3名
2021年度特別会員加入予定者	19名
2018年度末会員	92名

退会者 小野 祐一郎
澤畑 優太
藤野 広規

休会者 宋 秉孝

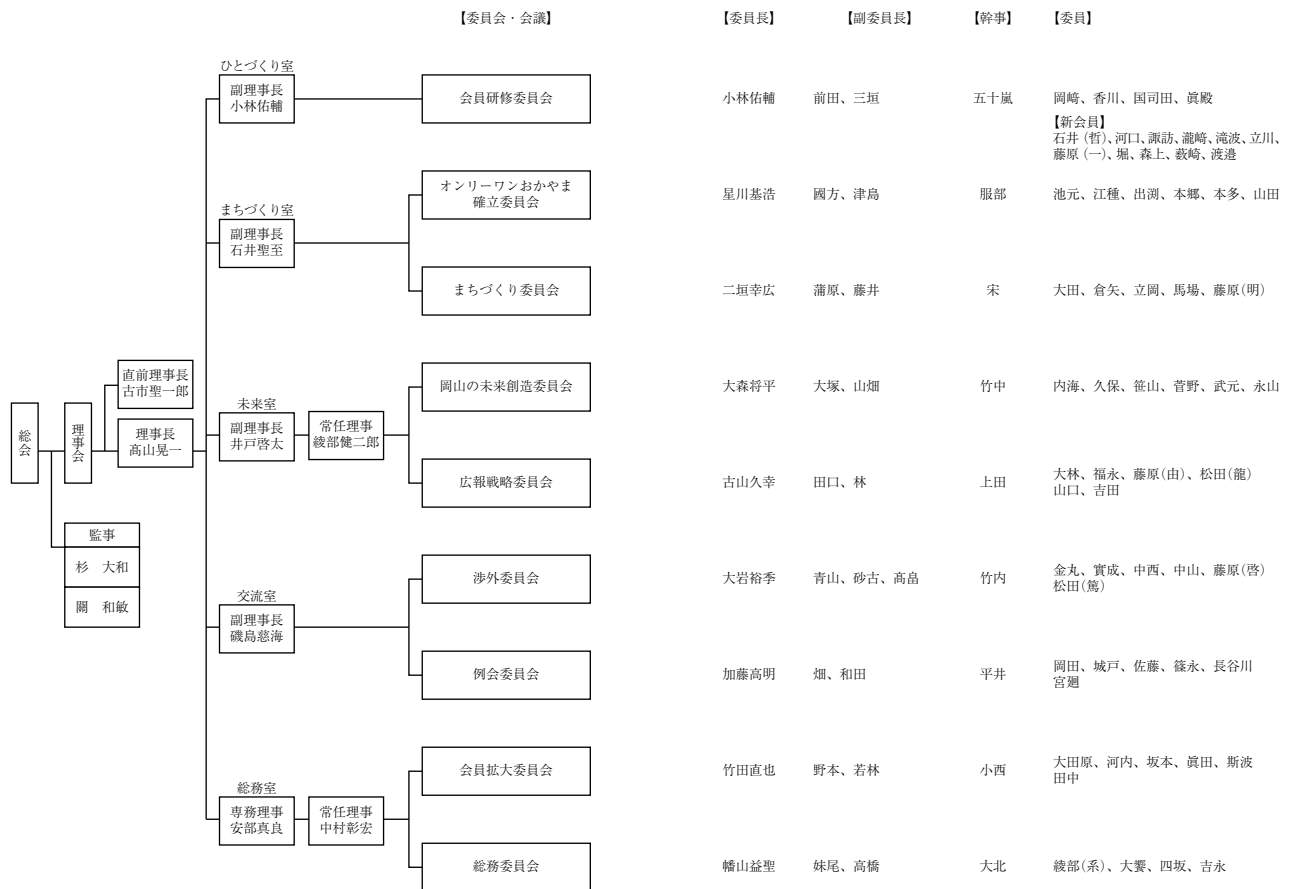
(2) 特 別 会 員

2019年度末会員	772名
2020年度加入者	17名
2020年度物故会員	7名
2021年度加入予定者	19名
2021年1月1日会員	801名

物故会員 藤原 敬介
花尾 昭博
藤原 徹
黒田 忠雄
赤木 啓治
宇治郷 亘
稲田 宏太郎

区分	氏 名	勤 務 先	年／月
前期新規入会者	国司田孝介	(株)スマートブルー	2020／1
	實成 忠	ネットリンクス(株)	2020／1
	斯波 篤	(株)斯波	2020／1
	菅野 淳太	(株)Moon	2020／1
	出淵 篤史	(有)高原企業保険事務所	2020／1
	長谷川 建	(株)きびだんご	2020／1
	山口 陽平	(株)SWITCH WORKS	2020／1
	吉永 拓未	Office KIKOE	2020／1
後期新規入会者	石井 哲也	(株)石井土木	2020／7
	河口 敏浩	(有)相思樹	2020／7
	諏訪 智彦	岡山薬品工業(株)	2020／7
	瀧崎 純	TAKIZAKI LABO 代表	2020／7
	滝波 深介	(株)アドバンスジャパン	2020／7
	立川 圭亮	&lab	2020／7
	藤原 一政	Brothel	2020／7
	堀 勝之	(株)アドバンス A	2020／7
	森上 真夢	(有)森上煙火工業所	2020／7
	藪崎 聡	(株)ミロク情報サービス	2020／7
	渡邊 陵太	合同会社NEOLINE	2020／7
特別会員新規加入者	河内 浩晃	(株)コーケン	2021／1
	關 和敏	(株)アクタス	2021／1
	磯島 慈海	宗教法人 西南院	2021／1
	杉 大和	菅公学生服(株)	2021／1
	香川 陽一	(株)ヒューマングロース	2021／1
	眞田 祐作	真田電気設備(株)	2021／1
	高山 晃一	高山産業(株)	2021／1
	星川 基浩	(有)桃商	2021／1
	古山 久幸	(株)環境クリーン	2021／1
	大饗 千鶴	(株)あすなろコーポレーション	2021／1
	國方 康平	(株)国方防虫化学(株)	2021／1
	田口 貴裕	五洋工業(株)	2021／1
	藤原 明裕	(株)ココピア	2021／1
	和田 晃司	(有)オオワダ	2021／1
	岡崎 信英	マニユライフ生命保険(株)	2021／1
	内海 尚紀	岡山放送(株)	2021／1
	江種 崇行	創美建設(株)	2021／1
	藤原 啓介	(有)キョウエイ藤原保険事務所	2021／1
	山田健太郎	岡山ライフラインソリューション(株)	2021／1

2. 2020年度 公益社団法人 岡山青年会議所 組織図



Ⅲ 出 向 者 報 告

公益社団法人 日本青年会議所

国土強靱化委員会 委員長 關 和 敏

2020年度、公益社団法人日本青年会議所 国家グループ 国土強靱化委員会 委員長として出向させていただきました、防災・減災の取り組みをさせていただきました。国土強靱化委員会として、災害発生に対して緊急道路の要望書提出、災害が発生した場合に迅速な災害支援をおこない、コレクティブ・インパクトを意識した基盤づくりを実現させていただきました。

岡山青年会議所をはじめ、全国から集まってくださったメンバーにお支えいただき、防災意識の向上に努めることを主軸として、出向していただいたメンバーともに邁進してまいりました。

私自身の中に一番芽生えたのはとにかく感謝の気持ちです。持てる全ての力を出し切った時に己の無力さを知り、本当の人の有り難さに気付く。その時本当の強さを手に入れることになる。どれだけ頑張ろうが所詮一人の力なんて本当にちっぽけなものです。運命共同体という和の心がいかに大切であるかということを感じさせられました。そしてJ Cが本当にすごい組織であるということに改めて実感しました。

国土強靱化委員会の活動において、コレクティブ・インパクトを意識した基盤づくりとして広域的ネットワークの構築をするために、イオン株式会社との協定を締結しました。イオン株式会社とは、災害発生時に同社が所有する施設を集積所とさせていただくことで被災地支援に繋げていき、平時の際には防災・減災を意識した事業の会場として施設をお貸ししていただけることになりました。令和2年7月豪雨災害では、全国のメンバーに対して被災地の状況を発信し、全国のメンバーから支援物資の提供をいただきました。また、岡山青年会議所メンバーからも多くの支援物資をいただき、この場を借りて感謝御礼申し上げます。加えて、防災・減災の取り組みとして「新型コロナウイルス感染が懸念される状況における災害対応勉強会」を実施し、災害が起こった場合でも新たな被災地支援の形を学ぶ機会を全国メンバーに提供し、防災・減災意識の向上に繋がりました。

最後に、最終年度の私にこのような機会をいただいた高山理事長、特別会員の皆様、執行部の皆様、出向をしていただきましたメンバーの皆様、そして一年間ついて来てくれた岡山青年会議所メンバー皆様、色んなところで応援、支援をいただいた全ての皆様に心より感謝御礼申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

国土強靱化委員会 総括幹事 綾 部 系 一

本年度、公益社団法人日本青年会議所 国家グループ 国土強靱化委員会の総括幹事として出向させていただきました。新型コロナウイルスの影響で当委員会が一番の担いである災害支援に対して制限が生じてしまったこと、非常に残念だと感じています。しかし、こんな状況だからこそ何ができるか考え、悩み、新しく実施することができた事業や支援体制もあり、学びの多い一年となりました。出向自体が初めての経験でしたが、委員長の下、スタッフとして出向できたことで多くの学びに繋がり、多くの刺激を受け、多くの仲間に出会うことができました。出向という大変貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

国土強靱化委員会 委員 田 口 貴 裕

前年にSDGsの推進を目的としていた委員会に出向させていただいた事もあり、引き続き同目的の委員会の出向を希望していましたが、岡山青年会議所から副幹事が委員長として出向するという事もあり、委員の立場からの担いを頂戴した次第です。

しかしながら、災害という事象に対し防災および減災を計画や周知、実行する立場にはなかったため、加入当初はどのような事が行われているかを理解する事に注力していました。主にイオンとの災害非難場所としての協力提携や、発災時のための緊急車両の道路の導線確保などの計画を重ねて説明していただく事で知識と意欲が高まってきました。

一年を通して、これほどまでに人を想う活動を経験できる委員会も無いと実感しています。高山理事長をはじめとされる執行部の皆様方におかれましては、貴重な経験を積ませていただきまして誠にありがとうございました。

国土強靱化委員会 委員 野 本 智 也

この度、国家グループ国土強靱化委員会の委員として出向をさせていただき誠にありがとうございました。災害が起きた時や、その対策として活動する委員会ではありましたが、コロナウイルス禍の中で7月に起きてしまった熊本の大雨、震災に次ぐ震災と困っている人々がいる中、現場で何も支援することができず悔しい思いをしました。そんな中でも委員会内では、今自分達に何が出来るか、新たな手法を駆使し皆がしっかりと向き合い真剣に模索する姿を目の当たりにしました。

今後も、「誰かが」ではなく「自ら範を示す」ように出向の機会があればLOMの代表として参画したいと考えております。

国土強靱化委員会 委員 藤原 由季子

本年度、公益社団法人日本青年会議所国家グループ国土強靱化委員会に委員として出向させていただきました。予定者段階から様々な事業に関与させていただいて、ありがたい限りでした。また、新型コロナウイルスの流行に伴い、刻一刻と変化する状況の中で、防災・減災を担う委員会として何ができるのかを年間通じて考える機会をいただけたことにも感謝しています。政府への緊急提言や道路啓開に関する署名活動、イオンとの協定締結など、今だからこそやるべきこと、できることを常に意識し続けたことは、今後の青年会議所運動の貴重な糧になると思います。最後になりますが、貴重な機会を与えてくださった高山理事長、誠にありがとうございました。

国土強靱化委員会 委員 本多 高明

本年度は、關委員長のもと 国土強靱化委員会に委員として出向させていただきました。2回目の日本青年会議所への出向で、前回とはまた違う立場での出向となりましたが、改めて全国のメンバーと活動させていただける有難さを強く感じさせていただける年となりました。また、防災に対しての考えや取り組みを強く考える機会もいただき、このような経験をさせていただいた、高山理事長はじめ、岡山青年会議所の皆様に心から感謝申し上げます。

本当に、ありがとうございました。

全国大会運営会議 副議長 高 島 裕 介

2020年度は公益社団法人日本青年会議所国家グループ全国大会運営会議に副議長として出向させていただきました。全国大会運営会議は年に一度主管青年会議所によって開催される全国大会を企画運営を行う会議体となり、本年度はコロナ禍の社会情勢により2月程より具体的な行動をとることが出来ず、全国大会前の重要な時間を活動することもままならない状況もございました。6月の時点ではスタッフのみ活動を再開はしており、全国大会の主管場所でもある札幌での活動も徐々に出来るようになりましたが、大会開催の9月末の1カ月半前に史上初となるWEBでの大会構築が決定しました。残された時間の中で今までにはないものを構築していくこと、そして16,000人以上を動員する全国大会を運営していくことへの挑戦は自分自身にとっても大きな今後の礎になる体験でした。予定者の段階から本年12月までしっかり活動がありましたが、副議長と言った大きな役職を受けさせていただいたことで、全国の同じような運動に対して本気で向き合っているメンバーに出会い、同じ時間を共有できたことも今までの人生においても大きなプラスになる1年半とすることが出来ました。最後にこの様な経験と機会を与えていただきました高山理事長をはじめとする岡山青年会議所のメンバーの皆様に感謝と共に、この経験をしっかりと岡山青年会議所の活動にも活かしてまいります。

全国大会運営会議 委員 青 山 雅 史

本年度は全国大会運営会議に出向させていただきました。

今までにない状況の中で、「なんとか開催できないか」と模索をするなかで初のWEB開催になりました。

各ロムの専務に登録のお願いを電話でする際には「頑張って下さい」と、たくさんの方に応援をいただけたのが励みになりました。

コロナ禍の影響でなかなか参加はできませんでしたが、良い経験ができました。

ありがとうございました。

全国大会運営会議 委員 江 種 崇 行

今年度、日本青年会議所全国大会運営会議第五小幹事として、出向させていただきました感謝しております。コロナ禍の中で、事業自体が変更を何度も繰り返し、とてもモチベーションを維持するのが大変ではありましたが、そんな中、川越議長を始めとされる、委員会メンバーの皆さんと出来た経験はとても、素晴らしいものになりました。

行動する大切さを改めて感じたいです。札幌に何度も足を運びましたが、だんだん札幌がとても近くに感じるようになり、全てが私自身には刺激的な日々を送らせていただけたことが、財産になりました。今年で卒業しますが、この経験を活かし会社をさらに飛躍できるように努力していきたいです。個人ではできない経験ができたので、本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

全国大会運営会議 委員 倉 矢 悠 毅

全国大会は、史上初となるWEBによる開催へと変更となり、北海道札幌の地に全国の会員が集まらない形の中で、それでも北海道札幌大会らしさを演出するために試行錯誤している主管青年会議所及び全国大会運営会議メンバーの取り組み姿勢を目の当たりにし、自分自身の青年会議所活動への向き合い方にとっても良い刺激を受けることが出来ました。また、来年以降の全国大会主管青年会議所との対話集会を実施するために、宇都宮、大分、東京の地において、各地の青年会議所メンバーの皆様の熱い想いに触れることができ、自分自身が青年会議所に在籍している間に、岡山で全国大会を実施したいという想いを抱くようになりました。今後の青年会議所活動を通じて、夢の実現を一年でも早くすることができるよう邁進してまいりたいと思います。

全国大会運営会議 委員 田 中 康 一

2020年度、未曾有の事態となった新型コロナウイルス感染拡大の中、出向先の全国大会運営会議においても、予想もしなかった多くの苦難がありました。しかしながら目の前にある多くの課題に対し、全国から集まった青年会議所メンバーが、全国大会北海道札幌大会という一つの目標に対して奮起し、誰もが同じLOMにいるメンバーのような結束力で向かいあう姿を目の当たりにし、全国の青年会議所メンバーの力をとても大きく感じる事のできる一年でありました。私自身も、微力ではありますが、その結束に加わったことがこの一年最も成長をした瞬間です。今後の委員会活動や、事業活動には強い結束を生み出すことが出来る青年会議所メンバーになればと思います。

国民権運営会議 委員 大 塚 真 弘

2020年運動指針に基づき、日本全国の青年会議所メンバーと共に切磋琢磨し、社会的課題に積極的に取り組むべく出向させていただきました。

コロナ禍における日本青年会議所において、活動内容に制限がかかるなど事業に対してのイレギュラーな動きなどがありましたが、環境や状況に応じた会議や事業への新しい試みなどに取り組むことができ、これからの時代と、私たちが行う運動の方向性を示すひとつの道標を作るべく活動ができました。

本年度における日本青年会議所での活動により、自己成長につなげることができたと確信しています。この経験を岡山青年会議所でも活かし、持続可能で笑顔と生きがいを持てる郷土岡山を創るべく貢献していきます。

国民権運営会議 委員 大 林 宗 高

日本の選挙のことを話し合い、投票率を上げることを目標に色々と活動してまいりました。4月には非常事態宣言が全国で発令されたことで、委員会の動きは鈍くなっていきましたが、全国各地の青年会議所メンバーとふれ合い、話し合い、1つの事業を作っていく経験は、とても新鮮でした。委員長はつねに周りに気づかい、幹事団は今できることを必死に考えてくださいました。1回しか顔を合わせていないのにすべての人の名前と、LOM名を覚え、声をかけてくださいました。何気ないことですがありがたいと感じ、何か力になればと感じました。金沢会議では、委員会はほどほどに懇親会や2次会で各LOMの方とよく飲み、よくしゃべり懇親を深めれたことがとてもありがたかったです。

出向させていただきましたことを、高山理事長をはじめ、執行部のみなさまには感謝の言葉でいっぱいです。ありがとうございました。

SDGs推進会議 委員 畑 利 昌

本年度、公益社団法人日本青年会議所 社会グループ SDGs推進会議に出向させていただきました。出向先ではSDGsを企業の経済活動に根付かせる様々な活動や事業を実施し、より実践的なSDGsを学ぶ機会を得ることが出来ました。なんとなく知ったつもりでいたSDGsですが、既に多くの青年会議所メンバーが自社に取り入れていることにも触れ、驚くと同時に今後の経済活動において、その必要性を再認識いたしました。今回の出向で得た学びをしっかりとLOMに還元出来るように邁進して参ります。貴重な経験をさせていただきました、誠にありがとうございます。また出向の機会があれば積極的に挑戦させていただきたく存じます。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会

副会長 小 林 佑 輔

本年度、公益社団法人日本青年会議所 2020年度中国地区協議会の副会長として出向させていただきました。

前年から様々な事業を予定していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大のため、多くの事業の中止を余儀なくされましたが、私が担当させていただきました中国地区コンファレンスは、初めての試みとしてWEBでの開催をさせていただき、コンファレンス実施のニューノーマルを確立することができました。

また、11月にはSDGsベストプラクティス事業として、初級編・中級編・実践編をそれぞれ設け、SDGsの基礎知識や取組事例などをYouTubeにて公開し視聴いただく事業を実施いたしました。SDGsに対する習熟度別にご覧いただけるため、皆様にも広い場面でご活用していただき、未来を担う青年経済人として、これからの持続可能な地域創生へ大きく飛躍する一助になると確信しています。

なかなか顔を合わせることができませんでしたが、貴重な一年の経験をいただき、一緒に出向した仲間とかけがえのない時間を共有できました。出向の機会をいただきありがとうございました。

副会長幹事 内 海 尚 紀

2020年度日本青年会議所中国地区協議会に小林佑輔副会長補佐として出向させていただきました。主な活動内容としては、毎月1度開催されます役員会議、及び役員調整会議へ小林副会長と同席サポートすること、加えて中国地区コンファレンスの企画運営、政策討論会の実施運営等の活動補佐でございました。あいにく、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、中国地区コンファレンスがWebでの開催となってしまいました。会議もWeb会議が中心で対面での会議に赴く機会は当初の予定より減少しましたが、そのような中で地区の他LOMの方々とLOMの近況や各々の社業等の情報交換をさせていただく機会が多くあり、私自身気づきと学びの多い機会となりました。今回地区出向という役を与えていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

副会長幹事 松 田 篤 郎

本年度は中国地区協議会副会長幹事として出向させていただきました。コロナの影響の中での一年となりましたため、十分な活動にはなりませんでした。副会長の熱い思いを聞き、出向の魅力は岡山LOMとは種類の違った経験と成長そして事業をしていけることだと感じました。

1年を通して学び、そして成長を持ち帰れたと確信をしています。次年度も岡山LOMの存在感を出向先で発揮していきたいと思っています。皆様からもご指導ご鞭撻くださいますようよろしくお願いいたします。

中国地区コンファレンス運営会議 委員 大 田 武 勇

地区コンファレンスを運営する委員会の一員として活動させていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により地区コンファレンスが中止となり、活動ができませんでした。

出向をすることで、他LOMのメンバーの皆様との関係を構築できると楽しみにしておりましたが、今後また出向をさせていただける機会を戴くことができた際には、精一杯活動させていただきたいと思っています。

本年度は、出向をさせていただきましたことを心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

中国地区コンファレンス運営会議 委員 妹 尾 愛 希

この度、2020年度公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会中国地区コンファレンス運営委員会に配属させていただきました。今回は山口県での開催という事で山口県に行けるのを楽しみにしておりましたが、新型コロナウイルス感染症のせいで、誠に残念な事に当日は中止、日取りを変えて動画で式典を配信するという形となりました。

式典の当日、中国地区コンファレンス2020 in 山口WEB式典にご参加していただけた皆様誠にありがとうございます。

この度は出向の醍醐味を味わう事は叶いませんでしたが、また次回出向の機会がありましたら、次こそはしっかりと参加し、県外の人脈を増やしていけたらと思います。出向を経験させていただき誠に有難う御座いました。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会

副会長 井 戸 啓 太

私は本年度、公益社団法人日本青年会議所 2020年度中国地区岡山ブロック協議会の副会長として出向させていただきました。コロナ禍の影響を大きく受けはしましたが、岡山県に対する新型コロナウイルスに関する緊急提言や、飲食店・観光業を支援するマップの作製、あたらしい日本を始める合図となる全国一斉花火プロジェクト等の事業を実施し対策および支援を実施してまいりました。

併せて、次世代の郷土を担う倉敷芸術科学大学メディア映像学科の共同制作にて、まちづくり参加促進動画「つながるまちづくり」を作成しました。「私もまちづくりに参加したい」「自分の住んでいるまちをもっと知ってみたい」等の興味を持っていただける動画になっています。

この一年の経験を活かし、おかやまのまちにより明るい未来の明かりが灯るよう次年度は岡山ブロック協議会 第57代会長を務めさせていただきます。一意奮闘の覚悟を持って邁進してまいりますので、皆様におかれましては変わらぬご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年度お力添えをいただいた皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

副会長幹事 池 元 純 一

私は井戸副会長の幹事として岡山ブロック協議会へ出向させていただきました。

当初周りからは副会長幹事は運転だけでそんなに大変ではないと言われましたが議会及び役員会・会員会議所会議への積極的な参加や岡山青年会議所で学んだ議案の知識を議会が上程する議案作成時に一緒になって考えて作成、自分から学びを取りにいけばいくらかでもやることはあることを教えていただきました。

また、金丸副会長幹事と一緒にやらせていただいたことは何よりもかけがえのない経験で何かを感じてほしいと考える日々が楽しくも厳しいことを出向して感じました。

今後出向される方には積極的に出向してもらい、何か自分にできることがないか考えて自ら成長できる場を勝ち取ってほしいと思います。

副会長幹事 金 丸 俊 孝

本年度は井戸ブロック副会長のセクレタリーとして出向させていただきました。コロナの影響とセクレタリーという役職の役割、事業に直接関わる機会はあまりありませんでしたが、出向の魅力は岡山L O M単会では成し得ない事業をしていけるのと、人脈が広がることだと思います。同じ出向先に行く岡山L O Mのメンバーとは親交がより深くなり、素晴らしい友情を築けました。

次年度以降も出向の機会をいただければ積極的に出向していきたいですし、新会員達にも出向の魅力を伝え積極的に出向していただき、岡山L O Mの存在感を出向先で発揮していただきたいと思います。

総務ブランディング会議 副議長 砂 古 和 宏

本年度配属として、岡山ブロック協議会 総務ブランディング会議 副議長として出向させていただきました。

1. 組織改革として、リモート会議などを普及させる活動
2. まちづくりができる人材を発掘でき、拡大活動にもつながる動画を作成
3. 岡山ブロック本次年度合同引継式と卒業式の設営
4. 「岡山ブロックAWARDS 2020」という褒賞事業の設営

と盛り沢山の予定でしたが、今年は新型コロナウイルスの影響でほとんど活動できませんでした。地域やまちや人に対して意識のかなり高い方たちの姿や挨拶を拝見でき、とても感動し身が引き締まりました。私ももっと人やまちに対して貢献しよう、できる男に必ずなろうと思いました。最後に、出向させていただいた高山理事長はじめとされます岡山J Cの皆さんありがとうございました。

総務ブランディング会議 委員 佐 藤 一 弥

本年度、総務ブランディング会議に出向させていただきました。コロナ禍でZ O O Mなどで会議が多く本来の会議体コミュニケーションが図れなかったことは残念ではありますが、様々なL O Mの方と出会い、刺激を受け、大変勉強をさせていただいた一年となりました。事業は動画作成、引継ぎ式、卒業式と多くの事業の進め方を経験することができ、他L O Mのメンバーの方との時間共有など出向をしなければ経験できないことが多く、このような機会をいただけたことに心から感謝いたします。結びに、本年の経験を活かすと共に私が経験したことをメンバーの方にもお伝えすることをお誓いし、出向者報告とさせていただきます。本当に1年間ありがとうございました。

輝く人財育成委員会 副委員長 三 垣 章 一

当初は岡山ブロック新会員研修会の実施、会員交流事業ブロックアカデミーの開催を予定しておりましたが新型コロナウイルスの影響により岡山ブロック新会員研修会（WEB）しか開催することができませんでした。準備段階から事業計画は何度も変更になりWEB上のセミナーで緊張感を維持すること、内容を伝える難しさが課題となりました。

J C I会頭までお勤めになられました原田先輩のご講演ではご自身の経験を基に青年会議所活動への関わり方、向き合い方についてお話をいただきました。新会員だけでなく経験を重ねた会員程聴いた方がいいと想える内容でした。我々は慢心することなくいつまでも学び続けなければなりません。そうでなければ大切な時間を使って活動する意味がありません。この度は貴重な経験を積ませていただきありがとうございました。

輝く人材育成委員会 委員 藤原 啓介

岡山ブロック協議会では輝く人材育成委員会に所属し委員として活動させていただきましたが、当初予定していた新会員研修会が社会情勢により大幅な変更を余儀なくされ、結果としてZOOMを利用した講演会を実施することとなりました。実施された講演会では多くの有益なお話があり、参加型になるような工夫や新会員からも活発な質問をいただき大変有意義な時間となりました。

本年の輝く人材育成委員会はこれまでの活動とは大きく方針を変更し、社会情勢が急変する中で打ち合わせも極力オンラインでのやり取りで進めたこともあり、進め方、実施内容について今後の活動に向けて有益なモデルケースを示すことができたと思います。

一方でスケジュールの都合上、やむを得ず一部の委員会メンバーの尽力により開催に至った面もあり今後の課題も見つかった一年でした。

笑顔溢れる郷土創造委員会 副委員長 林 利光

本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 笑顔溢れる郷土創造委員会に副委員長として出向させていただきました。

事業としましては、SDGsセミナーの開催、JCカップU-11少年少女サッカー大会の開催を予定しておりましたが、中止を余儀なくされました。事業は中止されましたが開催に向けての活動の中で様々な気づきを得ることができました。また、コロナ渦の中で何かできないかということから、岡山ブロック協議会のホームページ内において会員が営む飲食店紹介のページ作成を行いました。他にもリニアモーターカーの延伸についての勉強会を開くなど、次年度につながる活動ができたと感じています。

このような貴重な機会を与えてくださいました、高山理事長そしてLOMメンバーの皆さま、本当にありがとうございました。

笑顔溢れる郷土創造委員会 委員 山田 健太郎

新型コロナウイルスによる、前代未聞の状況の中で活動内容の制限がありましたが、日本青年会議所ブロック協議会運動指針に基づき、岡山における青年会議所メンバーと共に切磋琢磨し、社会的課題に積極的に取り組むべく出向をさせていただきました。

環境や状況に応じた会議に他のLOMメンバーとの情報共有や議案に取り組むことができ、SDGsとこれからの時代の方向性を考えさせられる活動ができました。

本年度における岡山ブロック協議会での活動により、様々な制約があるなかで自己成長につなげることができたと確信しています。この経験を活かし、SDGsの推進と岡山のまちづくりに貢献していきます。

安全保障確立委員会 副委員長 和田 晃司

当委員会は災害時の情報共有や防災について学ぶ委員会となります。

防災についてはブロック大会のメインフォーラムでパネルディスカッションを行う予定でしたが、コロナの影響で中止となりました。

また防災については7月に起こった九州豪雨災害において、岡山ブロック協議会から熊本ブロック協議会に支援物資を送る取り組みを行いました。各LOMへの案内を行ってから3日後には物資を発送するという短期間ではありましたが、岡山JCを筆頭に各LOMから大変多くの支援物資が発送元である玉島に集まりました。集まった物資を当委員会と玉島JCの皆さんで発送しやすいように種類別に梱包し直して、大型トラック2車に積み込みを行いました。

2年前の西日本豪雨の時に各地から手厚い支援を受けた恩を報いるとともに、その時の被災経験があったからこそ今回の素早い物資の支援に繋がりました。

安全保障確立委員会 委員 中山 友二

本年度、安全保障確立委員会に委員として出向させていただきました。

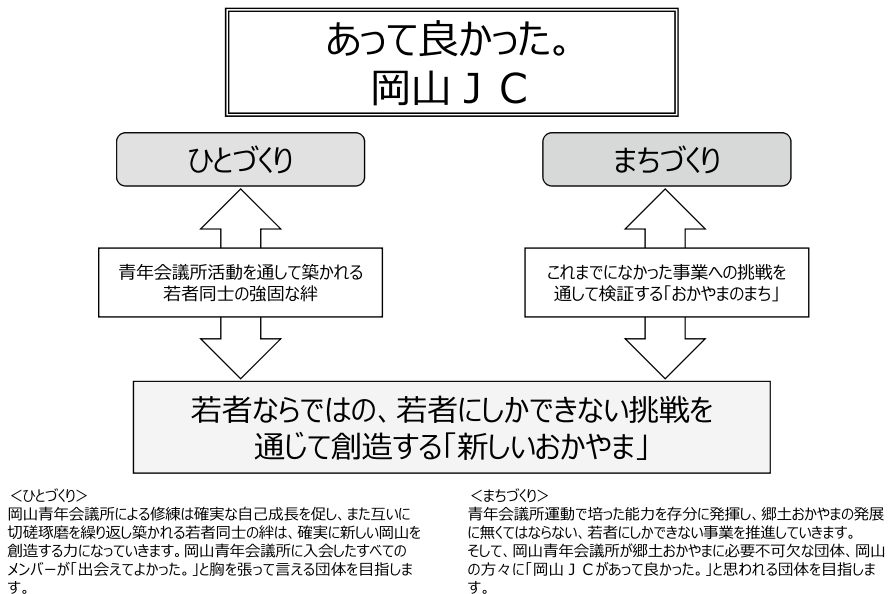
ブロック協議会への出向は初めてで、事業内容にワクワクしておりましたが、今年は、年明けからコロナの影響により、集まって作業、事業をすることは困難であり、仕方のないことですが、大変残念な思いをいたしました。

しかしながら、安全保障確立委員会の事業は、特に今後、岡山のみならず全国でも重要視される内容ですので、今後でもできる限りの協力をさせていただこうと考えております。

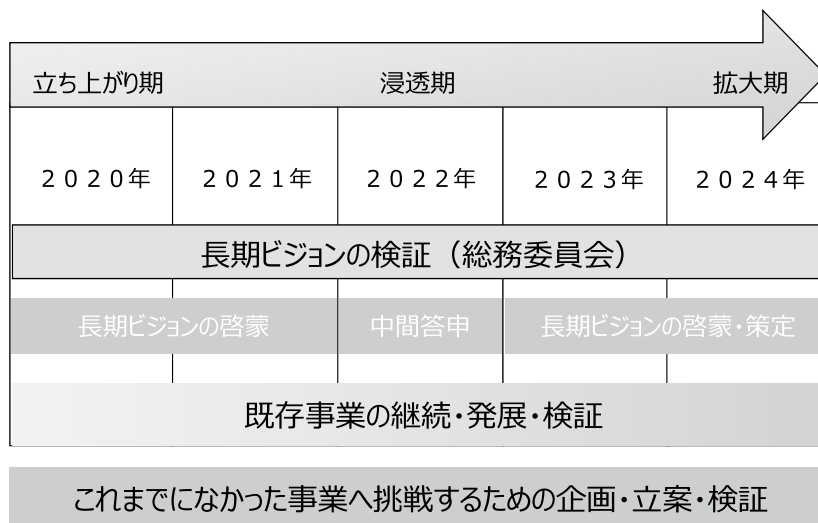
出向は、さまざまな事業や、他LOMのメンバーの方との出会いといった、LOMの外での経験を積めることに大きな意義があると考えています。また機会をいただけたら、環境が許す限りは、ぜひ前向きに取組みたいと思います。

本当に1年間ありがとうございました。

長期ビジョンスローガン・考え方



長期ビジョンアクションプログラム



- 年間10名以上の純増を目指し、2024年当初150名の会員を得ることを目標とする。
- 若者ならではの、若者にしかできない事業の企画・運営を行う事により、新しいおかやま創造の一助とする。
- 長期ビジョンスローガンを例会にて掲示する。

※ビジョン推進会議の設置

2022年に中間答申として2020年、2021年における事業に対する検証を行う。2023年、2024年に新長期ビジョン策定のためのビジョン推進会議を設置する。

※長期ビジョンの検証

事業計画書に長期ビジョンとの合致点、事業報告書に長期ビジョンの達成した点、達成できなかった点について記載し事業後の検証を行う。また、全事業終了後に総務委員会にて長期ビジョンの検証を行う。

Ⅳ 委員会活動報告

オンリーワンおかやま確立委員会

星 川 基 浩

オンリーワンおかやま確立委員会は、事業計画の元、オンリーワンの事業を展開させるべく、キッズスポーツパーク、キッズビジネスパークなど行政、大学、企業などと連携をとり準備してまいりましたが、新型コロナウイルスの蔓延などにより、開催が中止となりました。しかし開催には至らなかったものの新しい試みや、交わりなどが大いに詰まったこの二つの事業はまさにオンリーワンの事業だったと確信しております。しかしながら多くの方や、関係各所にご尽力を頂いたこの事業を開催できなかったことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。またこの二つの事業が次年度以降も形を変え繋がっていく事を心より願っております。そしてコロナ過の中、新しい方法で青少年育成事業を進めていくべく、多くの試みをいたしました。その中で実施に至った、竹田恒泰氏講演会「日本はなぜ世界で一番人気があるのか？」ではオンラインを使った新しい青少年育成事業を実施し多くの評価を頂いたことをお礼申し上げます。

結びになりますが、本年度のコロナ過の中、多くの団体や企業などの活動が中止となり、また新しい生活様式などが声高に叫ばれる中、まちづくりの本質である岡山青年会議所の不易の部分と新しい生活様式である流行というものを実感させられた一年間でもありました。まさに次年度からは青年らしい流行を意識し、岡山青年会議所のまちづくりを強力に推し進め、オンリーワンの団体に昇華していく事を心より願ひまして委員会報告とさせていただきます。

まちづくり委員会

二 垣 幸 広

本年度、高山理事長の掲げられる「ONLY ONE～巻き起こせfusion!」のもと一人でも多くの市民がおかやまを好きになり、能動的にまちづくりに参加したくなる意識改革の担い手となるよう活動してまいりました。

第27回うらじゃは新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となりましたが、本年うらじゃから卒業される踊り子や裏方を対象として岡山城天守閣前広場にて無観客のライブ配信を開催し、おかやまの財産である「うらじゃ」への想いを次年度に繋げることができました。

また、夏の風物詩である「うらじゃ」を年間通じてより多くの皆様に感じていただけるよう「うらじゃマンホール」「うらじゃLINEスタンプ」を一般からデザイン公募し設置・展開することで、アナログデジタル両面においてうらじゃの振興活動に微力ながら寄与することができました。

また、臨時事業として苦境に立たされていた飲食店の皆様の一助となるよう「飲食店応援事業（ドライブスルー）」を開催し、困難な状況でも率先して行動し社会活動をする意義を参加メンバーと共有することができました。

当初の計画とは大きく異なる一年ではありましたが、社会情勢に柔軟に対応し本年でしか実施することができない唯一無二の委員会活動を行えたと確信しております。常日頃からご指導いただいた石井副理事長、最後まで私を支えてくれた委員会メンバーに心より感謝を申し上げ、委員会の活動報告とさせていただきます。

岡山の未来創造委員会

大 森 将 平

本年度、高山理事長より岡山の未来創造委員会の理事委員長を拝命し、「ONLY ONE 巻き起こせfusion!」のスローガンのもと、創立70周年記念誌の発行と記念式典の開催、記念事業を担当させていただき、70周年の節目を迎える2020年度らしい活動を展開すべく、1年間活動してまいりました。

記念誌の発行では、諸先輩方が築いてこられた歴史を振り返るとともに、過去の延長ではなく、常に時代の変化に必要なものを見極め、大胆に行動してきたことを学び伝える機会の提供を意識し発行させていただきました。またコロナ禍の中、新しい形で記念式典を開催することで、LOM内外に対し岡山青年会議所の礎とも言える不易と流行を発信することができました。記念事業は本年度中に開催することができませんでしたが、2021年度の開催に向け引き続き尽力し、必ずこの岡山のまちに大きな軌跡とインパクトを与えられるオンリーワンの事業となることをここにお約束申し上げます。

最後になりますが、このような機会を与えていただきました高山理事長、未来室を担当いただきました井戸副理事長、綾部常任理事をはじめ、ご理解とご支援をいただきました現役会員の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。そして何より、いつも前向きに活動してくれた委員会メンバーと、多くのご指導ご鞭撻を賜りました特別会員の皆様に心より感謝申し上げます、1年間の報告とさせていただきます。

広報戦略委員会

古 山 久 幸

本年度、未来室広報戦略委員会といたしましてまず大切にしたいことは、いかに市民・行政を巻き込んだ活動ができるのか、そのために我々がしっかりとしたブランディングをできるのかというところが重要課題とし活動をして参りました。岡山青年会議所70周年の記念すべき最初の事業である新年賀詞交歓会では担当委員会として、皆様の記憶と記録に残る設えを目指し委員会メンバーと知恵を出し合い微力ながら皆様に満足いただけたのではないかと実感しております。皆様のご協力のお陰をもちまして歴代最高人員を更新することが出来ました。その他にもホームページ及びSNSを活用したブランディング活動や、広報誌「暖流」の制作と決して対外へ直接的に関わる事業ではありませんが、岡山青年会議所を広く認知いただくためには大切な事業であります。また、当委員会は初の試みとして岡山青年会議所のイメージ動画制作に関わる全てに携わることが出来ました。今後といたしましても動画を活用し更なるブランディングに繋がる内容に仕上がったと思います。当たり前のことが出来ないコロナ禍だからこそ、当委員会は意味や意義を見出したのではないかと思います。

結びとなりますが、岡山青年会議所はひとづくり・まちづくりを通して明るい豊かな社会を築き上げることが使命であり、それらを体現することができる団体だと確信しております。皆様におかれましては引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

渉外委員会

大 岩 裕 季

本年度の渉外委員会は、友好LOMとの交歓会、京都会議やサマーコンファレンス、全国大会や世界会議のLOMナイト設営など、様々な事業を設営させていただき予定となっております。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの事業の中止や縮小を余儀なくされる事態となりました。

例年通りの設えで開催できたのは京都会議出向者支援LOMナイトのみで、ASPACとサマーコンファレンスのLOMナイト、大阪交歓会は中止となりました。しかし、その他の事業に関しては、コロナ禍にはありながら、LOMメンバーや出向者、他LOMの皆様に喜びを感じていただけるように「おもてなし」の精神を取り入れて、縮小をしたものの、様々な形で事業を開催することができました。本年度だからこそ出来る、本年度でなければできなかった交歓会やLOMナイトをメンバーが一丸となって設営できたと自負しております。

事業が中止や縮小となり、準備を進めていたものが出来なくなった中で、アイデアを提案し、励まし支えあってくれた委員会のスタッフやフォロワーの皆様には、感謝の念に堪えません。そして、そんなメンバーやフォロワー、私に叱咤激励いただきながら暖かく見守ってくださいました高山理事長、磯島副理事長、1年間誠にありがとうございました。そして、事業にご協力を賜りました現役会員の皆様に心より感謝を申し上げ、1年間の活動報告とさせていただきます。

例会委員会

加 藤 高 明

本年度の例会委員会は、他団体とのフュージョン及びオンリーワンの例会を企画、運営し、能動的に参加したくなる例会を目指し、高山理事長の掲げられた例会委員会の職務分掌を全うし、今までの例会の常識ではなく、例会の可能性を見据えた例会設営を心がけ、COVID-19の影響を感じさせないよう常に参加者目線での設営を心がけ、1年間活動して参りました。

2月の70周年記念例会では、若林先輩にお越しいただき、貴重な学びの機会となりました。また、3月第二例会は開催できませんでしたが、4月例会においてYouTubeを使用した例会を実施し、ZOOMを用いた例会も実施しました。4月には献血事業、5月にはドライブインシアターと対外的事業も実施し、9月第二例会では企画例会を実施しました。11月例会では、IPUの協力の下、移動例会及び大人の体育の事業の実施ができ、運動不足の皆様にとって非常にいい機会になったと自負しております。

長年、先輩諸兄が培ってこられた例会のおもてなしをニューノーマルに定義しなおし、COVID-19に負けない岡山青年会議所の例会の形式を造ることもできました。このように、今までにない動きのある社会に適合した例会を円滑に開催できたのは、本年度の例会委員会の特色と確信しております。

結びとなりますが、例会という青年会議所活動の根幹となるべき委員会の長に選任していただきました高山理事長、無理難題を与えていただいた磯島副理事長、無理難題にに応じてくれた委員会メンバーに感謝の意を示します。そして多くのご指導、ご鞭撻、叱咤激励を賜りました特別会員の皆様に心より感謝申し上げます、1年間の活動報告とさせていただきます。

会員拡大委員会

竹 田 直 也

本年度、高山理事長より「ONLY ONE 巻き起こせ fusion」のスローガンのもと、会員拡大委員会の理事委員長を拝命し、委員会メンバーと共に活動して参りました。

我々、会員拡大委員会としてLOM全体の拡大意識を高め、委員会の垣根を越えてメンバー全員で拡大をしていくということと、必ず結果を残していく。大きくこの、二つのテーマを基に活動をして参りました。

LOM全体の意識を一年間高い位置で活動してもらうために今の時代に沿ったSNSを活用し、常に拡大に対する意識を持ってもらうこと、そして、LOMから拡大活動費としてメンバーに援助をしていくというシステムを構築し拡大活動を全てのメンバーが安易に行えるようにさせていただきました。

2020年度はコロナウイルス感染症の影響で厳しい一年となりましたが、委員会メンバーが誰一人心を折ること無く必死に活動し、前向きに私を支え多くの仲間を増やすことができました。

最高のメンバーに恵まれ、最高の一年を過ごすことができ、感謝の想いしかありません。

最後になりますが、このような機会を与えていただきました高山理事長、ご指導をいただきました安部専務理事、中村常任理事、ご支援ご協力を賜りました特別会員、現役会員の皆様に心より感謝申し上げます、本年度の活動報告とさせていただきます。

総務委員会

幡 山 益 聖

本年度、総務委員会は、組織運営の要として有意義な議論ができる環境づくり、持続可能で規律ある組織運営を基本に高山理事長の下、70周年を迎える岡山青年会議所の最大の軸として1年間活動してまいりました。

しかし、コロナ禍での活動で通常の委員会活動や会議運営が行えず、新たな手法としてWEBを用いた会議等の設営を模索しながら、決して足を止める事の無いよう活動に対し、常に当事者意識をもち委員会メンバー一丸となって進むことができました。お陰様で、諸会議を中止することなく、事業の適正についても、常に精査しながら意味や方向性を確認し、岡山青年会議所の資質向上に繋げることができました。組織を見えないところから支える大切さ、何事においても妥協しない心を持ち、物事を遂行することで委員会メンバーも大きく成長させていただくことができました。

最後になりますが、予定者段階から常に支えていただき、厳しさの中に優しさをもったご指導をいただきました、安部専務理事、中村常任理事に心より感謝し、一人ひとりが前向きな意識をもって活動してくれた委員会メンバー、そして多くのご指導、ご鞭撻、叱咤激励を賜りました特別会員の皆様に感謝申し上げます、活動報告とさせていただきます。

V 会 議

1. 総 会

■第1回定時総会

開 催 日 時：2020年3月18日（水）18時45分

開 催 場 所：岡山プラザホテル 例会会場

総 会 員 数：98名

出席した会員数：98名

内 訳 本 人出席 84名

委任状出席 14名

【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 事業報告（案）承認の件

第2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 決算報告（案）承認の件

第3号議案 公営社団法人岡山青年会議所 2020年度 修正予算（案）承認の件

■第2回定時総会

開 催 日 時 2020年7月1日（水）18時45分

開 催 場 所 岡山プラザホテル 例会会場

総 会 員 数 107名

出席した会員数 107名

内 訳 本 人出席 95名

委任状出席 12名

【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 理事選任及び理事長の推薦（案）承認の件

■第3回定時総会

開 催 日 時 2020年7月15日（水）18時45分

開 催 場 所 岡山プラザホテル 例会会場

総 会 員 数 107名

出席した会員数 107名

内 訳 本 人出席 100名

委任状出席 7名

【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 理事及び監事の選任、並びに執行部理事の推薦（案）承認の件

■第4回定時総会

開 催 日 時 2020年8月5日（水）19時50分

開 催 場 所 ZOOM（一部は岡山プラザホテル 例会会場）

総 会 員 数 107名

出席した会員数 107名

内 訳 会場出席 34名

ZOOM出席 73名

【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 理事の選任（案）承認の件

■第5回定時総会

開 催 日 時 2020年12月23日（水）18時

開 催 場 所 ホテルグランヴィア岡山 例会会場

総 会 員 数 107名

出席した会員数 95名

内 訳 本 人出席 83名

委任状出席 12名

【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 事業計画（案）承認の件

第2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 収支予算（案）承認の件

第3号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 組織図（案）承認の件

■第1回臨時総会

開催日時 2020年1月9日(木) 14時45分

開催場所 岡山プラザホテル5階 延養の間

総会員数 98名

出席した会員数 98名

内訳 本人出席 90名

委任状出席 8名

【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 監事選任(案)承認の件

第2号議案 第49回日本JCじゃがいもクラブ西日本地区大会 組織図(案)承認の件

第3号議案 公益社団法人岡山青年会議所 創立70周年記念事業 実行委員会 組織図(案)承認の件

◆第2回臨時総会

開催日時 2020年6月25日(木) 18時

開催場所 WEB

総会員数 98名

出席した会員数 98名

内訳 本人出席 18名

委任状出席 80名

【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 監事選任(案)承認の件

2. 理事会

■第1回 執行部・理事合同会議

日時: 2020年1月7日(火) 17:00~18:00

場所: JCルーム

審議事項

(1) 監事選任(案)承認の件

(2) 公益社団法人岡山青年会議所2020年度前期入会予定者名簿(案)承認の件

(3) 公益社団法人岡山青年会議所創立70周年記念事業実行委員会組織図(案)承認の件

(4) 会員資格規定第3条第4項に基づく推薦者3名以上の推薦者(案)承認の件

■第2回 理事会

日時: 2020年2月10日(月) 19:00~21:00

場所: JCルーム

審議事項

(1) うらじゃ開催支援広告協賛募集事業の事業計画(案)承認の件

(2) うらじゃ振興活動事業の事業計画(案)承認の件

(3) 企画例会の事業計画(案)承認の件

(4) 公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 決算資料(案)承認の件

■第3回 理事会

日時: 2020年3月9日(月) 19:00~21:00

場所: JCルーム

審議事項

(1) 休会(案)承認の件

(2) 出向者支援LOMナイトIN京都の事業報告(案)承認の件

(3) 70周年記念祝賀例会の事業報告(案)承認の件

■第4回 理事会

日時: 2020年3月30日(月) 19:00~21:00

場所: JCルーム

審議事項

(1) 特別会員・現役会員合同新年賀詞交歓会 事業報告(案)承認の件

■第5回 理事会

日時：2020年4月27日（月）19：00～21：00

場所：WEB会議

審議事項

- （1）公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会2021年度会長候補者の推薦（案）承認の件
- （2）新型コロナウイルス感染症による社会情勢に対する緊急対策事業 ドライブシアター事業計画（案）承認の件

■第6回 理事会

日時：2020年5月25日（月）19：00～21：00

場所：WEB会議

審議事項

- （1）2020年度前期新会員 委員会配属（案）承認の件

■第7回 執行部・理事合同会議

日時：2020年6月8日（月）18：30～19：30

場所：岡山プラザホテル2階 吉備の間

審議事項

- （1）新型コロナウイルス感染症による社会情勢に対する緊急対策事業ドライブシアター補正事業計画並びに補正予算（案）承認の件
- （2）公益社団法人岡山青年会議所創立70周年記念事業（寄贈式）の事業計画（案）承認の件

■第8回 執行部・理事合同会議

日時：2020年7月1日（水）16：00～17：00

場所：岡山プラザホテル4階 烏城の間

審議事項

- （1）会員資格規定 第3条 第4項の基づく推薦者3名以上の推薦者（案）承認の件
- （2）公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 後期入会予定者（案）承認の件
- （3）誰とも濃厚接触しない外出事業 ドライブシアターの事業報告（案）承認の件

■第9回 執行部・理事合同会議

日時：2020年7月15日（水）17：00～18：00

場所：岡山プラザホテル2階 吉備の間

審議事項

- （1）公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 理事及び監事の選任、並びに執行部理事（案）承認の件
- （2）公益社団法人岡山青年会議所 2020年度役員選挙管理委員会 投票によって選任される2021年度理事の定数（案）承認の件
- （3）公益社団法人岡山青年会議所 2020年度 後期入会予定者（案）承認の件

◆第10回 理事会

日時：2020年8月3日（月）19：00～21：00

場所：WEB会議

審議事項

- （1）休会（案）承認の件
- （2）公益社団法人岡山青年会議所創立70周年記念式典の事業計画（案）承認の件

■第11回 執行部・理事合同会議

日時：2020年8月24日（月）19：00～21：00

場所：WEB会議

審議事項

なし

■第12回 理事会

日時：2020年9月23日（水）18：00～20：00

場所：ANAクラウンプラザホテル19階 宙の間

審議事項

- (1) うらじゃ開催支援広告協賛募集事業の事業報告(案)承認の件

■第13回 理事会

日時: 2020年10月19日(月) 19:00~21:00

場所: 岡山プラザホテル2階 吉備の間

審議事項

- (1) 復会承認の件
(2) うらじゃ振興活動事業の事業報告(案)承認の件
(3) 青少年育成セミナーの事業計画(案)承認の件
(4) うらじゃ実行委員会への資金助成の事業計画(案)承認の件
(5) 公益社団法人岡山青年会議所 創立70周年記念事業の事業計画(案)承認の件
(6) さよなら例会の事業計画(案)承認の件
(7) 日本男子ソフトボールリーグトーナメント後援の依頼願い(案)承認の件

■第14回 理事会

日時: 2020年11月24日(火) 18:00~20:00

場所: 岡山プラザホテル2階 吉備の間

審議事項

- (1) 企画例会の補正事業計画及び補正予算(案)承認の件
(2) 公益社団法人岡山青年会議所 創立70周年記念誌の事業報告(案)承認の件
(3) 企画例会の事業報告(案)承認の件

■第15回 執行部・理事合同会議

日時: 2020年12月7日(月) 18:00~20:00

場所: 岡山プラザホテル2階 吉備の間

審議事項

- (1) 後期新会員 委員会配属(案)承認の件
(2) 公益社団法人岡山青年会議所 創立70周年記念事業(寄贈式)の事業報告(案)承認の件
(3) 公益社団法人岡山青年会議所 創立70周年記念式典の事業報告(案)承認の件
(4) 公益社団法人岡山青年会議所 事業運営ガイドライン(案)承認の件
(5) 公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 収支予算(案)承認の件
(6) 公益社団法人岡山青年会議所 2021年度 基本資料(案)承認の件

■第1回 臨時理事会

日時: 2020年2月17日(月) 16:00~18:00

場所: 岡山プラザホテル3階 花葉の間

審議事項

- (1) キッズスポーツパークの事業計画書(案)承認の件
(2) まちづくり事業プレゼンテーション大会の事業計画(案)承認の件
(3) 公益社団法人岡山青年会議所創立70周年記念式典・祝賀会の事業計画(案)承認の件
(4) 公益社団法人岡山青年会議所創立70周年記念誌の事業計画(案)承認の件
(5) 公益社団法人岡山青年会議所 2020年度修正予算書(案)承認の件

◆第2回 臨時理事会

日時: 2020年6月25日(木) 17:45~18:00

場所: WEB会議

審議事項

- (1) 2020年度 監事選任(案)承認の件
(2) 2020年度 役員選挙管理委員会 顧問選任(案)承認の件

Ⅵ 例 会

開催日	会 場	出席者	記 事
1月 9日	岡山プラザホテル	91名	特別会員・現役会員合同新年賀詞交換会 新会員バッジ授与式
2月 6日	岡山プラザホテル	94名	70周年記念祝賀会
3月		0名	第一例会中止
3月18日	岡山プラザホテル	90名	第1回定時総会 ブロック出向者出陣式
4月 8日	Y o u T u b e 配信	92名	新会員アトラクション
5月13日	Y o u T u b e 配信	94名	新会員コミュニティ
6月 3日	Y o u T u b e 配信	92名	新会員配属コミュニティ
7月 1日	岡山プラザホテル	101名	第2回定時総会（次年度理事長推薦） 新会員バッジ授与式
7月15日	岡山プラザホテル	103名	第3回定時総会（次年度執行部推薦） 理事選挙チャレンジスピーチ
8月 5日	岡山プラザホテル	103名	第4回定時総会（次年度理事委員長推薦） 新会員3分間スピーチ
9月 2日	岡山プラザホテル	102名	新会員コミュニティ
9月17日	岡山プラザホテル	101名	企画例会
10月 7日	岡山プラザホテル	100名	出向者報告
11月11日	I P U 環太平洋大学	105名	企画例会スポーツ体験
12月 9日	岡山プラザホテル	104名	さよなら例会
12月23日	ホテルグランヴィア岡山	95名	総会

Ⅶ 諸 事 業

開 催 日	記 事
1 月 7 日	新年参拝（最上稲荷）、新年挨拶まわり
1 月 9 日	新年賀詞交換会（岡山プラザホテル）
1 月 1 6 日～1 9 日	京都会議（京都国際会議場）
2 月 1 4 日	歴代理事長会議（荒手茶寮）
4 月 4 日	献血活動（DCMダイキ岡山店）
4 月 1 1 日	献血活動（DCMダイキ岡山店）
5 月 2 3 日～2 4 日	ドライブシアター事業（おもちゃ王国 駐車場）
6 月 4 日	中国地区コンファレンス（WEB）
6 月 6 日～ 7 日	恋する岡山♡応援企画「料理人のソコジカラ ドライブ♡するー？」事業
6 月 2 0 日	親睦事業（史上初のWEB開催）
6 月 2 1 日	岡山ブロック大会（WEB）
7 月 3 1 日	うらじゃマンホール贈呈式
9 月 2 6 日	全国大会（WEB）
1 0 月 1 7 日	ももちゃり寄贈式（岡山駅 東口前広場）
1 0 月 2 2 日	7 0 周年記念式典（岡山市民会館）
1 1 月 3 日	青少年育成セミナー
1 1 月 7 日	うらじゃのソコジカラ2 0 2 0 新卒業ー
1 2 月 9 日	さよなら例会（岡山プラザホテル）
1 2 月 2 7 日	岡山ブロックアワード・卒業式（岡山コンベンションセンター）

VIII 褒 賞 関 係

1. 褒賞委員会

最優秀委員会 例会委員会 岡山の未来創造委員会

2. 100%例会出席者

【執行部】

高山 晃一、小林 佑輔、石井 聖至、井戸 啓太、磯島 慈海、安部 真良、
綾部健二郎、中村 彰宏、關 和敏

【会員研修委員会】

前田 淳、三垣 章一、五十嵐尚輝、岡崎 信英

【オンリーワンおかやま確立委員会】

星川 基浩、國方 康平、服部 悟、池元 純一、江種 崇行、山田健太郎、
本郷 昌一、出渕 篤史

【まちづくり委員会】

二垣 幸広、蒲原 智樹、藤井 彰一、倉矢 悠毅、立岡 海人、馬場 紀行、
藤原 明裕、大田 武男

【岡山の未来創造委員会】

大森 将平、大塚 真弘、山畑 和久、竹中 広太、内海 尚紀、笹山 勇二、
武元 浩、永山 栄一、菅野 淳太

【広報戦略委員会】

田口 貴裕、林 利光、藤原由季子、松田龍乃輔、大林 宗高

【渉外委員会】

大岩 裕季、青山 雅史、砂古 和宏、高畠 裕介、金丸 俊孝、藤原 啓介、
中西 大輔、實成 忠

【例会委員会】

加藤 高明、畑 利昌、和田 晃司、平井 秀和、岡田 有造、城戸 貴登、
佐藤 一弥、宮廻 孝史、長谷川 建

【会員拡大委員会】

若林 裕聖、小西 秀斉、田中 康一、大田原基敬、斯波 篤、野本 智也

【総務委員会】

幡山 益聖、妹尾 愛希、高橋 雄大、大北大士郎、綾部 系一、大饗 千鶴、
四坂 政稔、吉永 拓未

岡山 J C 設立趣意書

1. 経済活動は、人類社会の基盤であり青年は人類社会発展の原動力であります。吾々はこの意義と誇りの重責に答えんとしここに岡山青年会議所を設立せんとする。
2. 急迫せる国際情勢下郷土の産業経済的発展、日本経済の再建にたずさわる吾等青年実業家の任務はまことに重大である。吾等郷土の経済活動の第一線にたずさわるもの縣下の各層にわたり同士を集め、もつて岡山青年会議所を其の名にふさわしいものにせんとする。
3. 国際経済を離れて日本経済は成立しない。吾等は日本青年会議所を通し、国際青年会議所の精神をわがものにし、国際親善に志し世界の青年と緊密なる提携のもとに平和に寄與し経済活動における人道的世界観を築きもつて祖国日本郷土岡山のあやまりなき再建にいささか貢献せんとする。

(1951年2月6日 創立総会)

